

令和元年度 第2回「防災スペシャリスト養成」企画検討会

議事概要

1. 検討会の概要

日 時：令和元年7月30日（火）10：00～12：00

場 所：中央合同庁舎8号館4階 407-2 会議室

出席者：林座長、井ノ口委員、岩田委員、牛山委員、宇田川委員、大原委員、鍵屋委員
国崎委員、黒田委員、中林委員、丸谷委員、渡邊委員
青柳政策統括官、小平審議官、神谷参事官、西村企画官、宮坂参事官補佐

2. 議事概要

(1) 「防災スペシャリスト養成」研修に関する報告

- 有明の丘研修(第1期)の実施に関する検討・見直しについて報告した。
- 防災 SP 養成は重要な施策であり継続性を確保していくことが重要。

(2) 地方プログラムの設計・開発の方向の検討

- 地域研修の主催県から、国の出先機関へ参加呼びかけはしづらい。国の出先機関への参加呼びかけは、内閣府からしてもらってはどうか。
- 費用が確保できないことや多忙等の理由から研修に参加できていない小規模自治体向けに、発災直後～受援を受けるまでの自治体単独でやらなければならない部分に焦点を充てた研修コンテンツも検討してはどうか。また、講義の様子を映像・音声で配信するなど検討してはどうか。
- 将来的に地域研修が拡大していくと想定されるが、その場合内閣府担当の講師が不足していく。今後、地域研修の講師養成も必要であり、トレーナーズ・トレーニングについても検討すべき。
- 受講者が内閣府との人的つながりをつくる機会は重要であるため、内閣府の担当には地域研修に来てもらい、防災行政概要や法体系の講義はしてもらう方がよい。一方、その他の講義は、地域で設定し実施してもよいのではないかと。
- 地域研修実施後のヒアリングにおいて、実施主体県が市町村向けの防災研修をどのように行っているのか、地域研修をどのように活用しようと考えているのかについても聞いてはどうか。
- 南海トラフ地震の重点受援県に対しては内閣府から地域研修の実施を促していくことが重要。

- 地域研修は実践に役立つ知識だけではなく、防災について体系的な内容も学習する場であり、地域研修だけで即戦力の人材になると誤解されないよう研修コンセプトを、公募にあたりしっかり示したほうが良いのではないか。

(3) 自治体職員等を対象とした公開用 e ラーニングの課題の検討

- 公開用 e ラーニングは、防災担当として最低限理解しておくべきことを学ぶことができるものとしてはどうか。防災担当に着任した人は、この e ラーニングを受講することが常識となるのが理想ではないか。
- 自治体では、防災担当の初任者に早い段階で最低限の知識を学んでもらいたいというニーズがあるため、内容は、市町村の防災業務に絞ってもよいのではないか。
- 公開用 e ラーニングの受講管理は必要ではないか。個人単位ではなく市町村単位で受講状況を把握し、未受講の市町村には受講を促すなども重要ではないか。
- 予算の都合などから有明の丘研修を受講できない人や、応募しても受講できない人が、e ラーニングで受講できるようになるとよいのではないか。
- e ラーニングは、1 コンテンツを短時間にすることが効果的であるとのこと。1 コンテンツ 3 分程度としコンテンツを多数作成するのが効果的ではないか。公開用 e ラーニングは、現在の事前学習用 e ラーニングとは異なり、防災に関わる自治体職員それぞれが災害発生直後から実務としてやらなければならないことを理解できるようなコンテンツとしてはどうか。
- e ラーニングだけで学習できるコンテンツが理想だが、その作成や管理にあたり、誰がどのように作成し、どのように継続的に管理すればよいかといったやり方や仕組みの検討が必要。
- 新任の防災担当でも取り組みやすくするため、入門レベル、知識レベル、技能レベル等と階層を設け体系化し、段階的に学ぶことも可能にするなど、一定の知識と技能を習得出来るように、工夫してはどうか。
- 防災スペシャリスト養成を通じて、すそ野を広げる、という考えがあることから、e ラーニングの対象は、「自治体等の職員」全体と捉えるべきではないか。e ラーニングが、防災関連部署以外の部署の職員のスキルアップにつながるのではないか。
- 内容は、災害応急活動に特化し充実していくとよいのではないか。
- 公開用 e ラーニングのコンテンツはなるべく簡易かつシンプルに作成し活用できるようにしてはどうか。例えば、地域研修のコンテンツを公開用 e ラーニングコンテンツに反映させていく仕組みなど考えてはどうか。

(4) 効果測定手法(修了者アンケート調査の方向含む)の検討

- 修了者に対する一定期間を経たアンケートは、受講者を送り出した上長の意見も把握できるため、効果測定として有意義である。設問を集約しできるだけ選択式とするとうい。

- 修了者アンケートは、できるだけ過去の設問・回答を基に選択式とし、自由記述は、肝要な設問に限ってはどうか。
- アンケートで、「事前学習」として整備している e ラーニングに関する意見や感想を聞いてもよいのではないか。
- 研修への参加にあたり、組織の要望か、自発的な参加かは、問う方がよい。
- アンケートは今後の改善に役立てるためのものなので、「役に立たなかったこと」など記述しにくい回答が得られるように設問を工夫するとよいのではないか。
- アンケート構成は具体的で回答しやすいものを最初のほうに、感想を問うような抽象的な設問は後にすれば回答しやすいのではないか。受講の目的、受講してみて実際どうだったか、改善の提案といった、時間経過の流れで問うと回答し易いのではないか。
- 提案や要望を問う場合、回答例を示しておくとういのではないか。